

地方公共団体からの寄附受入れ

■2025年4月受入れ分

1. 寄附者	2. 寄附の金額	3. 寄附の内容	4. 寄附に至った経緯
宮城県 登米市	30,000,000円	地域総合診療医育成 寄附講座(第3期)の設 置のため	<p>平成28年度末に改訂されたモデルコアカリキュラムでは、「多様な医療ニーズに対応できる医師の育成」が基本方針の一つとして挙げられており、この改訂に沿った医師育成を行うためには、地域医療の全カテゴリーにおいてまんべんなく研修を行うことができる環境が必要である。そこで、地域医療を学ぶフィールドとして適当な施設を包括的に運営している登米市出資による本寄附講座を平成29年10月に本学に設置し、その教育・研究の地域活動拠点として、登米市民病院内に「東北大学総合地域医療教育センター」を開設した。</p> <p>第1期にて、モデルコアカリキュラム改訂に対応した臨床実習の再編を行った。日本・宮城県が抱える問題(少子高齢化・人口減少)を先取りしている登米市において将来活躍する総合診療医を教育する場の管理運営を行った。また、文部科学省未来医療研究人材拠点形成事業「コンダクター型総合診療医の養成プログラム」(平成29年度終了)を継承し、リサーチマインドを持つ総合診療医を育成するための事業を推進するとともに、東北大学病院基幹型「総合診療医専門研修プログラム」と連動した教育体制の整備を行った。これらを継続・発展させ地域医療に貢献するため、本講座を継続設置することとなった。</p> <p>※平成29年10月から令和2年9月まで第1期設置                  ※令和2年10月から令和5年9月まで第2期設置                  ※令和5年10月から令和8年9月まで第3期設置</p>
青森県 八戸市	20,000,000円	地域連携リエゾン精神 医学推進寄附講座の 設置のため	<p>東北地方の医療過疎地域に住む住民のリエゾン精神医療サービスへのアクセシビリティを向上させ、精神医療保健の均てん化を図るために、大学病院と地域の中核病院と周辺の医療資源とのネットワークを構築・維持・発展していくための知見・経験・人材を増やすとともに、デジタルデバイスを用いて医療過疎地域における医療機関の利用者の心身の健康管理のための技術開発を行うため、本講座を設置することとなった。</p> <p>※2024年4月から2026年3月まで設置</p>
青森県 十和田市	20,000,000円	消化器医療イノベーション 推進寄附講座の設置	<p>本寄附講座は、「本学の研究開発により地域消化器診療の問題解決を目指す」ことを目的とし、青森県上十三地域における消化器診療の質を高め、その医療圏で完結するような診療体系を構築できるよう、「地域の診療データの解析」を行いながら地域におけるニーズに即した「消化器診療教育システム」、AI補助診断などの「先進的消化器診療技術」の開発・実証研究を行う。</p> <p>これによって専門性の高い消化器内科診療技術提供の均てん化を図るとともに、地域の医療ニーズを踏まえた「教育システム」・「次世代消化器診療技術」の新規開発・実証研究を行うプラットフォームを構築する。</p> <p>また、並行して「地域のレセプト・DPCを用いたリアルワールドデータ解析」から消化器医療ニーズの把握や本寄附講座によるアウトカムの評価を継続的に行い、地域における消化器診療の問題を本学の研究開発で解決可能かを明らかにする。</p> <p>※2024年7月から2027年3月まで設置</p>